

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第7区分

【発行日】平成18年7月13日(2006.7.13)

【公開番号】特開2005-89033(P2005-89033A)

【公開日】平成17年4月7日(2005.4.7)

【年通号数】公開・登録公報2005-014

【出願番号】特願2003-321973(P2003-321973)

【国際特許分類】

B 6 5 H 31/00 (2006.01)

B 6 5 H 1/04 (2006.01)

B 4 1 J 29/00 (2006.01)

【F I】

B 6 5 H 31/00 B

B 6 5 H 1/04 3 1 0 B

B 4 1 J 29/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成18年5月24日(2006.5.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

印刷手段に供給する印刷シートが装填される給紙トレイと、印刷手段により印刷されて排出される印刷シートを受ける前記給紙トレイに収納可能な排紙トレイとを備えた印刷装置であって、

前記排紙トレイを前記給紙トレイに収納される収納位置と、排出される印刷シートを受け取り可能な使用位置との間に移動可能とする一方、前記排紙トレイが前記収納位置から前記使用位置に移動した状態で、前記給紙トレイに印刷シートが装填された場合に、印刷シートの干渉を受けて前記排紙トレイの前記使用位置から前記収納位置への移動が阻止されるトレイ位置移動手段を備えたことを特徴とする印刷装置。

【請求項2】

前記給紙トレイ及び前記排紙トレイを所定の1回の操作によって装置本体の所定の収納位置に移動させるトレイ移動収納手段を備えることを特徴とする請求項1記載の印刷装置。

【請求項3】

前記トレイ位置移動手段は、

前記給紙トレイ及び前記排紙トレイに設けられて前記排紙トレイを前記給紙トレイに対して重ねた位置から所定の間隔に開離した位置まで接離可能に支持するとともに、前記排紙トレイを前記給紙トレイに対して回動可能に支持する支持手段と、

前記排紙トレイ又は前記給紙トレイに設けられて前記排紙トレイが前記給紙トレイに対して開離した位置で夫々のトレイの間隔を保持する間隔保持手段と、

を備えることを特徴とする請求項1記載の印刷装置。

【請求項4】

前記支持手段を介して前記排紙トレイが前記給紙トレイに対して所定の間隔に開離した位置まで移動するときに、前記排紙トレイが前記給紙トレイ上で印刷シートの排出方向側に移動することを特徴とする請求項3記載の印刷装置。

【請求項 5】

前記給紙トレイは、そのトレイ上に装填される印刷シートを位置決めする位置決め部を備え、前記排紙トレイは前記給紙トレイへの収納時に前記位置決め部に係合されてその収納状態にロックされることを特徴とする請求項 1 記載の印刷装置。

【請求項 6】

前記トレイ移動収納手段は、前記排紙トレイが設けられた前記給紙トレイを装置本体に對して回動可能に設ける回動手段であることを特徴とする請求項 2 記載の印刷装置。

【請求項 7】

前記給紙トレイ及び前記排紙トレイが装置本体の所定の収納位置に収納されたときに、装置本体に設けられる印刷シートの給紙口及び排紙口を覆うことを特徴とする請求項 2 記載の印刷装置。

【請求項 8】

前記給紙トレイ及び前記排紙トレイが装置本体の所定の収納位置に収納されたときに、装置本体に設けられる操作手段を覆うことを特徴とする請求項 2 に記載の印刷装置。

【請求項 9】

前記給紙トレイは、そのトレイ上に装填される印刷シートを位置決めする位置決め部を備え、前記排紙トレイは前記給紙トレイへの収納時に前記位置決め部に係合されてその収納状態にロックされることを特徴とする請求項 2 記載の印刷装置。

【請求項 10】

前記給紙トレイに前記排紙トレイを収納した状態と、前記給紙トレイ上に前記排紙トレイを所定の間隔をあけて配置し夫々のトレイが使用可能な状態とに連結する連結手段を備えたことを特徴とする請求項 2 記載の印刷装置。

【請求項 11】

前記排紙トレイを前記給紙トレイに対して開離する方向に付勢する付勢手段を備えることを特徴とする請求項 10 記載の印刷装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

請求項 2 の発明は、前記給紙トレイ及び前記排紙トレイを所定の 1 回の操作によって装置本体の所定の収納位置に移動させるトレイ移動収納手段を備えることを特徴としている。